

橘小学校 令和6年度 学校評価 集計結果について

向春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。本年度もあとわずかとなりました。一年間本校の教育活動に多大なご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、「学校評価アンケート」には、多くの方からご協力いただきありがとうございました。集計いたしましたので、児童の集計結果と合わせてご覧ください。

1 アンケート結果の考察

今年度、12項目において「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた児童が昨年度より増加していますが、9項目において減少しているのは大きな課題と受け止めています。

①学校へ行くのが楽しい

「学校へ行くのが楽しい」と答えた児童は、昨年度に比べて3%減少しています。11%の子どもが「楽しくない」と感じている要因を取り除くことが急務です。子どもたち一人一人の実態を見つめ、寄り添った指導を行い、魅力ある学校づくりに取り組みます。

②「健康・安全な生活と体力の向上」

④「歩いて登校している」の結果が昨年度より12%増加しました。今年度は1年生が歩いて登校しており、それに合わせて上学年の児童も歩いて登校する子どもが増えてきました。それでも全体の58%であり、ほぼ半数の児童が送迎という状況です。子どもたちの体力づくりや早起きの習慣づくりという面において、徒歩通学は価値があります。今後も徒歩通学をはじめ、体育や外遊びでしりり体力作りに取り組むよう指導していきます。

③「いじめをしないで友達と仲良くしている」

今年度本校では、人権・いじめ防止委員会の子どもたちが中心となって「いじめゼロ宣言」を作成し、全校児童に「いじめをなくそう」と呼びかけました。⑪「いじめをしないで友達と仲良くしている」と答えた児童が100%であったこと、また⑫「こまったときに助けてくれる友達がいる」と答えた児童が95%であったことは嬉しい結果です。今後も楽しい学校・学級づくりを通して、子どもたちのコミュニケーションを活性化し、互いの良さを認め合う人間関係を育てていきます。

④「自尊感情」

93%の児童が、⑬「先生はがんばったことをほめてくれる」と答え、96%の保護者が「お子さんのよいところをほめている」と答えているにも関わらず、⑭「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童は78%でした。「ほめられる」受け身の経験とともに、自分自身が困難を乗り越えたり、目標に向かって挑戦し達成したりする経験も必要ではないかと考えます。「ほめる」教育を基本として、様々な課題に挑戦させていくことを教育活動に取り入れていきます。

⑤「郷土愛」

⑮「阿南市や橘町が好きだ」と答えた児童が91%で昨年度より2%増加しました。創立150周年記念行事があり、地域の方との交流に重点を置いたふるさと学習に取り組んだことで、子どもたちが橘町のよさを再認識することができたようです。今後も、地域の方との交流をはじめ、地域教材を積極的に学習活動に導入し、子どもたちの郷土愛を高めていきます。

2 学校運営協議会の実施

これらの結果をもとに、令和7年2月20日（木）に第2回学校運営協議会を開催し、委員の皆様からこのような意見をいただきました。

○朝食をとれていない子どもがいる。保護者に啓発を図るとともに、理由を調査して、対策を考えてはどうか。

○両側に高いブロック塀のある細い路地が通学路の途中にある。地震発生時に危険なので変更してはどうか。

○子どもの自尊心を高めるには、児童の内面を鍛えることが大切。目標を設定させ、達成できたら印をつけるなど、自分で達成感を感じられる取り組みをしてはどうか。

○ふるさとを愛する気持ちを育てるため、今後も地域との交流を積極的に進めてほしい。

3 今後の取り組みについて（課題）

○児童に寄り添い学習を支援し、「ほめる」教育を来年度も重点目標の一つとして取り組み、楽しい学校づくりに取り組みます。

○人権教育を深化させ、いじめのない学校づくり、自他の命と人権を大切にする児童の育成に取り組めます。

○引き続き地域の人・もの・ことを生かした「ふるさと学習」を推進し、児童の郷土愛を高めます。

○体育の授業や外遊びを通して、運動することの魅力をはかり、児童の体力向上に取り組めます。

○地域と連携した交通安全指導・防災教育をさらに推進し、児童の命を守るとともに、災害発生時に自分で判断して自分の命を守る判断力・実践力を児童に育ててまいります。